



2026 年9月 14 日

各 位

会 社 名 サン バ イ オ 株 式 会 社
代 表 者 名 代表取締役社長 森 敬太
(コード番号:4592 東証グロース)
問い合わせ先 執行役員管理本部長 角谷 芳広
(TEL.03-6264-3481)

2027 年1月期第2四半期累計期間の連結業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

当社は、2026 年3月 17 日に公表しました 2027 年1月期第2四半期累計期間(2026 年2月1日～2026 年7月 31 日)の連結業績予想と本日公表の実績値との間に差異が生じましたので、下記のとおりお知らせします。

記

1. 2027 年1月期第2四半期累計期間の連結業績予想と実績値との差異(2026 年2月1日～2027 年7月 31 日)

	事業収益	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 中間純利益	1 株当たり 中間 純利益
前回公表予想(A) (2026 年3月 17 日公表)	百万円 —	百万円 △2,906	百万円 △2,908	百万円 △2,909	円 銭 △37.28
実 績 値(B)	—	△1,909	△1,730	△1,791	△22.95
増 減 額(B)-(A)	—	997	1,178	1,118	
増 減 率(%)	—	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (2026 年1月期中間期)	—	△1,888	△2,481	△1,997	△27.80

2. 差異の理由

営業損失については、製造関連費用の検収時期の見直し等に伴い当第2四半期累計期間における費用が当初予想を下回ったことに加え、2026 年5月のアクーゴ®の薬価収載および発売開始に伴い、業績予想策定時には研究開発費として見込んでいた製造費用の一部を棚卸資産(仕掛品)として計上したことにより、損失額が減少しました。

経常損失及び親会社株主に帰属する当期純損失については、上記の営業損失減少に加え、当社連結子会社に対する外貨建て貸付金及び関連する債権に関し円安による為替差益が発生したことにより、実績は上記のとおりとなりました。

なお、2026 年5月 13 日に公表した 2027 年1月期(通期)の業績予想については、当第2四半期累計期間に計上を予定していた製造関連費用を当下半期に計上する見込みであることから、業績予想の変更はありません。

以上